

福井県と（公社）福井県観光連盟は、9月9日にキャッスルプラザ（名古屋市中村区）において、観光商談会を開催しました。

舞鶴若狭自動車道の全線開通や北陸新幹線金沢開業を誘客拡大につなげようと、県内から、ホテルや旅館をはじめとした観光施設や市町観光担当者など43団体56名が参加し、中京地域の旅行会社やメディアに対し、それぞれの施設の特徴や魅力を積極的に売り込みました。

また、県がブランド化を進めている三ツ星若狭牛の試食や、福井浜町芸妓組合による舞の披露など、県内の食・自然・文化・歴史の新たな魅力をアピールしました。

今後は、11月12日に東京のホテルメトロポリタンエドモントにおいて旅行商品造成東京会議を開催し、北陸新幹線開業に向けた旅行商品の造成を働きかけます。

## <参考>

### ○参加者の声

#### （1）県内関係者の声

- ・成果が得られそうな手応えを感じられる商談ができた。
- ・観光素材やサービスについて、旅行会社の反応を直に聞くことができた。
- ・旅行会社との契約にどのような条件が求められるか生の意見を聞くことができた。特に大手旅行会社ではコンプライアンスを重視するようになってきていることから、それについての対応が必要になると感じた。

#### （2）旅行会社等の声

- ・プレゼンテーションを一方向的に聞かされるのではなく、事業者と直接意見交換できるのが良い。
- ・すぐにでも旅行商品に組み込むことができそうな新たな観光素材を紹介してもらい有意義だった。
- ・既存の観光素材であっても、新たな見せ方や打ち出し方を工夫することにより集客できる余地があることを事業者と意見交換できた。

### 会場の様子

